

「倶知安町ゼロカーボン戦略」パブリックコメントに対する回答

「倶知安町ゼロカーボン戦略」について、以下の1件のご意見がございました。

●ご意見（以下原文）

私は倶知安町において林業に携わる者として、ゼロカーボンニュートラルの方向性そのものには賛同いたします。森林は二酸化炭素の吸収源であり、適切な森林整備と木材利用は、地域における脱炭素の中核となり得ると考えます。

一方で、林業の現場から見ると、理念先行で制度設計が進むことには懸念もあります。森林の二酸化炭素吸収量は、伐って・使って・植えて・育てるという循環があつてこそ維持・向上します。伐採を抑制するだけでは、森林の高齢化や手入れ不足を招き、結果として吸収能力の低下や災害リスクの増大につながる恐れがあります。

そのため、以下の点を重視した施策を検討いただきたいと考えます。

1.適正な森林施業の推進

間伐・更新を含めた計画的な森林整備を、ゼロカーボン施策の一環として明確に位置づけること。

2.地域材の積極的利用

公共建築物や民間建築における町内・後志管内材の利用促進は、炭素固定と地域経済の両立につながります。

3.林業事業者への現実的支援

脱炭素に資する施業にはコストが伴います。補助制度や評価制度は、机上の数値ではなく、実際に現場で実行可能な内容とする必要があります。

4.森林由来の再生可能エネルギー活用

未利用材や林地残材のエネルギー利用は、廃棄物削減と地域内エネルギー循環の観点からも有効です。

ゼロカーボンニュートラルは、林業を制限する政策ではなく、林業を持続可能にするための追い風であるべきだと考えます。現場の声を十分に反映し、森林・林業・地域経済が共に循環する計画となることを期待します。

●本町の考え方

ご提案頂いた、適正な森林施業の推進、地域材の積極的利用、林業事業者への現実的支援、再生可能エネルギー活用については、いずれも本町のゼロカーボン施策を検討するうえで重要な視点であると考えております。また、ゼロカーボンの取組が林業を制限するものではなく、森林資源の循環利用を後押しする方向で進めることが重要であると考えており、今後も関係者の皆さまのご意見を伺いながら取り組んでまいります。

以下、個別項目に対してご回答致します。

ご意見 (施策の検討要望)	回答
1.適正な森林施業の推進 間伐・更新を含めた計画的な森林整備を、ゼロカーボン施策の一環として明確に位置づけること。	適正な森林施業の推進についてのご意見につきましては、森林の健全な循環を維持するうえで重要な視点であると認識しております。 間伐や更新等を含む具体的な森林整備の内容や実施方法は、森林所有者や林業事業者が策定する森林経営計画等に基づき取り進めていくこととなります。
2.地域材の積極的利用 公共建築物や民間建築における町内・後志管内材の利用促進は、炭素固定と地域経済の両立につながります。	地域材の積極的利用は、炭素固定の促進や地域経済への波及効果の観点から重要な視点であると受け止めております。 いただいたご意見は、今後の検討の参考とさせていただきます。
3.林業事業者への現実的支援 脱炭素に資する施業にはコストが伴います。補助制度や評価制度は、机上の数値ではなく、実際に現場で実行可能な内容とする必要があります。	林業事業者への補助金制度や評価制度の在り方について、現場の状況を踏まえた内容とすべきとのご意見につきましては、林業の実情に即した制度設計を求めるものとして受け止めております。 いただいたご意見は、今後の検討にあたっての参考とさせていただきます。
4.森林由来の再生可能エネルギー活用 未利用材や林地残材のエネルギー利用は、廃棄物削減と地域内エネルギー循環の観点からも有効です。	未利用材を活用した木質バイオマス利用については、燃料となる木材チップ等の安定的な供給体制の構築や、水分調整施設の確保など運用面での課題があります。そのため、現時点では特定の設備導入を画一的に推奨する段階ではなく、今後の技術動向や地域の流通環境を注視しながら、社会情勢の変化に対応できるよう検討を進めていく考えです。 いただいたご意見は、今後の具体的な施策検討にあたっての参考とさせていただきます。